学校法人福原学園　耐震化率について　（2025 年 4 月 1 日現在）

耐震化率　１００％　（2021 年 3 月時点）

日本私立学校振興・共済事業団の「私立学校校舎等実態調査」に基づき、下記計算方法で算出しております。

（分母）「実態調査」対象施設の延床面積の合計①

１１２，８２９　㎡

（分子）ａまたはｂに該当する建物の延床面積の合計

１１２，８２９　㎡　（ａ+ｂ）

ａ（新耐震基準②）

新築年月日が、1981 年（昭和 56 年）6 月 1 日以降の建物

８９，４００　㎡

ｂ（旧耐震基準③）

新築年月日が 1981 年（昭和 56 年）5 月 31 日以前の建物のうち、耐震診断実施済で、耐震性能を有しているあるいは耐震補強済みの建物

２３，４２９　㎡

１１２，８２９㎡　÷　１１２，８２９㎡　＝　**１００％**

学校名	延床面積①	新耐震基準②	旧耐震基準		耐震化率
			補強済・適合③	診断未実施	
九州共立大学	64,473 ㎡	48,345 ㎡	16,128 ㎡	0 ㎡	100%
九州女子大学・九州女子短期大学	48,356 ㎡	41,055 ㎡	7,301 ㎡	0 ㎡	100%
法　人　計	112,829 ㎡	89,400 ㎡	23,429 ㎡	0 ㎡	100%

※旧耐震基準とは、建築物の設計において適用される地震に耐えることのできる構造の基準で、1981（昭和 56）年 5 月 31 日までの建築確認において適用されていた基準をいい、新耐震基準とは、1981（昭和 56）年 6 月 1 日以降の建築確認において適用されている基準をいう

※調査時点において使用していない建物及び学生生徒・教職員が日常的に使用していない建物は調査対象から除く。